

## 第5回兵庫県教育振興基本計画検討委員会 議事要旨

平成 30 年 12 月 26 日（水） 15:30～17:00

兵庫県農業共済会館 7階 大会議室

### 1 開 会

### 2 教育長あいさつ

開会後、西上教育長があいさつを行い、出席者に出席のお礼を述べた後、第3期ひょうご教育創造プランの最終案について審議を依頼した。

### 3 委員紹介

### 4 資料説明

協議に先立ち、事務局がパブリック・コメントの結果と「『第3期ひょうご教育創造プラン』（素案）」についての説明を行った。

### 5 協 議

#### （委員長）

- パブリック・コメントを踏まえた修正案について、ご意見、ご質問があれば伺いたい。

#### （委員）

- 施策「国際理解を深める教育の推進」について、「ふるさと意識を醸成する教育の推進」という取組が追加されたが、グローバル化への理解が進むことによって、ふるさとや自分の住んでいる地域に対して誇りを持つとともに、自らの国際社会における立ち位置、生き方が明確化されていくのではないか。世界の中で兵庫及びふるさとを認識するという記述が必要ではないか。

#### （事務局）

- 自らのことを知らずに、単に語学力のみで広くコミュニケーションが図られるのかというご意見であったかと思う。「ふるさと意識を醸成

する教育の推進」には、先生ご指摘の視点も含まれている。

**(委員)**

- 本文には、外国語教育の推進や海外留学、国際交流の推進とふるさと意識を醸成する教育の推進が並列して記述されているが、グローバル化を推進するためになぜふるさと意識を醸成することが関係するのかについての説明が無く、わかりにくい。誰が読んでも理解できる記述にしてもらいたい。

**(事務局)**

- 年度ごとに作成する実施計画には、先生ご指摘の内容も含まれた事業も盛り込まれる予定である。ご指摘を踏まえ、ふるさと意識を醸成する教育の推進については、誤解の無いように語句を補うなど工夫し、最終版とする。

**(委員長)**

- 委員も事務局も同じ思いであると認識した。修正していく上での案はないか。

**(委員)**

- 自分を知った上で相手を知ることが、本当の意味のグローバル化であると思う。外国語教育と海外留学の推進で一度文章を切り、国際社会の中でグローバル化に相対化してふるさと意識を捉えるための文章を加筆してはどうか。

**(事務局)**

- 該当部の表記については、他の項目と統一を図っている。その項目だけ文章を入れることは難しいので、上の文章に加筆等を行い対応する。

**(委員)**

- 「自国と同様に他国の伝統と文化を尊重する」という国レベルの話になっているが、自分の生まれたふるさとなどの意識についても、書き

加えてもらいたい。

**(委員長)**

- ふるさとのニュアンスが出るように記述するというので、委員長預かりとさせていただきたい。

**(委員)**

- 第2部「8 働き方改革」(3)外部人材の活用促進について、一つの文章が大変長くなり、意味がわかりにくくなっている。文章を途中で区切るなどできないか。

**(事務局)**

- ご提案いただいたことを踏まえ、文章を修正する。

**(委員)**

- 7ページについて、情報活用能力が大切であり、論理的思考力等を高めるため、プログラミング教育の活用を図る必要があると記述されており、パブリック・コメント前と文意が変わっている。プログラミング教育の後に「等」を加えれば、問題は解決するのではないか。一方、36ページは、プログラミング教育の充実を重点として、情報活用能力を育成するとなっているが、プログラミング教育が情報活用能力の全てを示すわけではない。また、48ページは「プログラミング教育等の情報活用能力を高めるための教育」となっており、プログラミング教育と情報活用能力がイコールのような関係となっている。情報活用能力とプログラミング教育の関係性を整理すべきではないか。

**(事務局)**

- 委員ご指摘のように7ページについては、文章を修正し、因果関係を明確化したい。36ページについては、プログラミング教育の充実を重点として、情報活用能力を高めるという関係は包含関係としてこのままでよいかと考える。48ページは、プログラミング教育が目的ではなく、手段となるように修正する。

**(委員)**

- 倫理的消費を実行する賢い消費者の育成が必要というパブリック・コメントに対して、消費者問題という語句を挿入することは消費者個人が損しないようにするにはどうすればよいかということばかり想起させ、矮小化してしまっているように感じる。また、18ページについては、教育以外の「地域づくり活動」、「男女共同参画」と並んで、「人権教育」、「消費者教育」が記述されている。文言を整理をしてもらいたい。
- 51ページの消費者問題が記述されている前の文章に「生きる喜びや感動を得るとともに、豊かな心を育む」とあるが、生きる喜びや感動を得ることも豊かな心も、全て心の話である。その後の文章に現代的なテーマが続くことを考えると、「豊かな人間性」など幅広い意味を持つ単語に置き換えた方がよいのではないか。

**(委員長)**

- 確かに「人権教育」、「消費者教育」の記述については違和感がある。教育ではなく、課題を意味する語句に事務局で整理してもらいたい。

**(事務局)**

- ご指摘のとおり、18ページの課題を受けての51ページの表現であるので、課題という意味の語句と置き換えたい。

**(委員長)**

- 教育関係者は、人権の課題も人権教育の課題も同じように使ってしまう場合がある。事務局には、行政的な言葉の使い方も踏まえて、整理をお願いしたい。
- 最後に教育委員会等にご要望があればお願いしたい。

**(委員)**

- 48ページの重点④について、県立学校においてICT環境の整備を図るとあるが、県立学校のみ限定しないでほしい。

**(事務局)**

- 修正して対応する。

**(委員)**

- ICT環境の整備状況は、各市町によって状況が違う。県が直接関与できるわけではないが、県内の教育機会等の保障という観点からその旨の記述をしていただければありがたい。
- 教職員の働き方改革について、組織体制の見直しや業務削減も重要であるが、学校現場が温かみを実感できるような計画の策定や体制整備を進めていただきたい。

**(委員)**

- 専修学校にとっては、教育創造プランに接する機会が少ない。プラン成案後は、県の部局や市町にも周知する方策の検討をお願いしたい。

**(委員)**

- 県のプランが完成した後は、市町教育委員会が具体的な形に落とし込んでいく段階となる。市町によってハード面の差はあるものの、県教育委員会と連携してそれらを埋めていき、兵庫の子どもにとって素晴らしい教育を展開していければと思う。

**(委員長)**

- 議長として、委員の皆様から本当に建設的な意見をいただき、感謝申し上げます。
- 公募委員や県会議員の方々からは、積極的に前向きにご発言いただいた。学識経験者からは、私たちの気付かないところで専門的なご意見をいただいた。団体や組織の代表の方々からは、それぞれの立場からだけでなく、広い視野からご意見をいただいた。
- 今後、本日いただいたご意見を踏まえ、プランの文言を調整するところがあるが、その取り扱いについては、委員からの発言のニュアンスを取り入れながら、事務局との間で調整するという事で委員長に一任いただいてよいか。

(委員一同)

【異論なし】

(事務局)

- 本日いただいたご意見を踏まえ、委員長に事前にご相談のうえ、来年1月に定例教育委員会で議決、2月中旬の県議会に上程する予定である。なお、県議会上程までの過程で若干の変更があるかと思うが、ご了承いただきたい。

(委員一同)

【異論なし】

## 6 諸連絡

齊藤課長が、5回にわたって検討委員会で審議いただいたことについてお礼を述べた後、連絡事項を説明

- 議事要旨は各委員に確認を依頼し、公開する予定
- 今後のスケジュールについて（1月 教育委員会の議決、2月県議会上程など）